

# 大統領選挙戦が本格化するも、レアルは下落基調

2018年8月28日  
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

- ブラジル・レアルは、対米ドルで2016年1月以来の安値水準にまで下落しています。
- 大統領選挙は、最新の世論調査でトップの支持率を維持するルラ元大統領の立候補が認められるか否かによって情勢が大きく変わる見込みです。
- ブラジル中央銀行（中銀）は為替介入を拡大する方針を維持しています。今後の中銀の動向により、レアルは下支えされることが見込まれます。

## 【レアルの下落基調が強まる】

レアルの下落基調が強まっており、足元では対米ドルで2016年1月以来の安値水準となっています。この背景として、2018年10月7日に予定されている大統領選挙に対する市場の不透明感が強まっていることがあります。

2018年8月15日には高等選挙裁判所（TSE）が大統領選挙の候補者登録を締め切りました。その後8月22日に発表された世論調査では、市場からの信任の厚いアルキミン氏への支持が低位にとどまる一方、収監中のルラ元大統領が39%という高い支持を得る結果となりました。

このため、ブラジルの喫緊の課題であり現政権が推進している財政等の改革路線が次期政権に継承されない可能性が懸念され、レアル売りが広がりました。

## 【今後も動向を注視する必要性】

TSEはトップの支持を得ているルラ元大統領の立候補を受け付けたものの、実際に出馬を認めるか否かを現在審査しています。

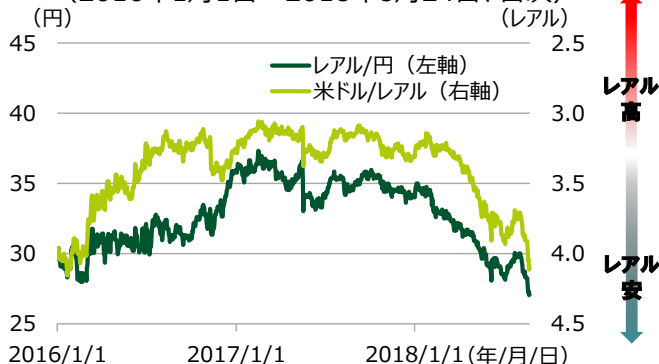
ルラ元大統領は収賄等の容疑で有罪判決を受け現在収監されており、大統領選挙への出馬資格は剥奪となっていることから、TSEがこれを認める可能性は低いと見られます。なお、ルラ元大統領の立候補が不可能となれば、副大統領候補と目されるアダジ氏が大統領候補になると見られています。現在、アダジ氏とアルキミン氏の支持率は拮抗していますが、今後の動向によってはルラ元大統領への支持がアダジ氏に流れることも考えられます。アルキミン氏は議会から多くの支持を得ていることで市場では優勢と見られていました。しかし、ルラ元大統領の人気は低所得者層を中心に依然根強く、アルキミン氏優勢との市場の楽観的見方は大幅に後退した模様です。

ただし、過去の大統領選挙では、投票日直前まで支持率は大きく変化してきました。また、今月末より始まる政見放送も選挙戦に大きく影響すると言われています。放送時間は支持政党の議席数に応じて配分されるため、議会から支持を得ているアルキミン氏は大半の政見放送時間を獲得していることから、その後の世論調査がどのように変化するかも注目されます。

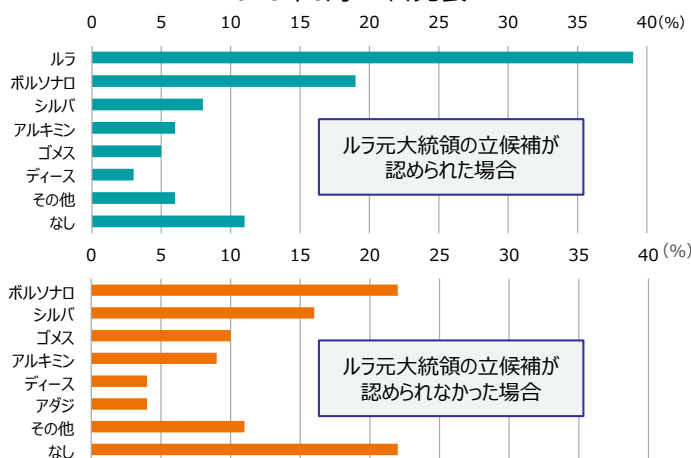
## 【中銀は今後為替介入強化に動く？】

中銀は必要に応じて為替介入を拡大する方針を維持していますが、足元のレアル安を受けても介入強化に踏み切っていない模様です。しかし、通貨スワップによる追加の介入余地も過去の水準から見て相当程度残っている模様であることから、今後の中銀の対応も注目されます。

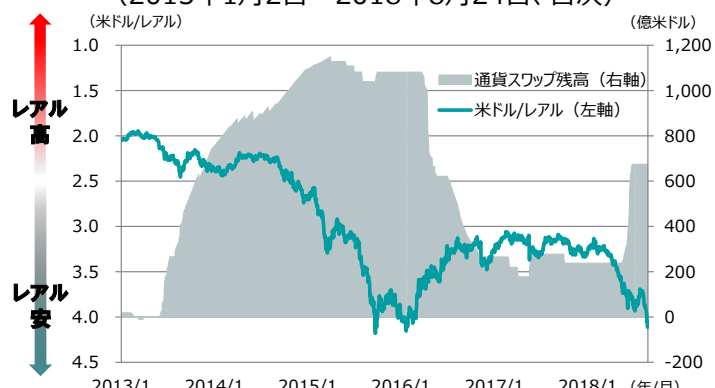
【図表】ブラジル・レアル（対円、対米ドル）の推移  
（2016年1月1日～2018年8月24日、日次）



【図表】大統領選挙世論調査  
2018年8月22日発表



【図表】通貨スワップ残高とブラジル・レアル（対米ドル）の推移  
（2013年1月2日～2018年8月24日、日次）



出所：Bloomberg、Datafolhaのデータを基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成  
※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報及び見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

## 大統領選挙戦が本格化するも、レアルは下落基調

## ご留意事項

## ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

## ●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

## 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会